

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.351
2020.12.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.net
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■第4回都議会定例会の開催、11月30日～12月16日。代表質問:12月8日、一般質問:9日。
■2021年度各党予算要望。

地域ネット

品川ネット

住民目線の市民案 検討会
12月11日(金) 14:00～16:00 荏原第五区民集会所第1集会所(下神明駅) 区庁舎建て替えに関するアンケート、講演とワークショップでの区民の意見を反映させた「市民提案案」を発表。さらに検討する アドバイザー:伊藤久雄(NPOまちぼっと理事) 03-5751-7105

杉並ネット

はじめよう 脱プラスチック生活!
12月12日(土) 13:00～15:30 阿佐谷地域区民センター第4・5集会室(阿佐ヶ谷駅) プラスチックの海洋汚染:中井八千代(容器包装の3Rを進める全国ネットワーク)、「容器包装プラのゆくえ」見学報告、ワークショップ「脱プラ生活」 500円 主催:プラスチックフリーセミナー実行委員会 問合せ:freepla.suginami@gmail.com (曾根)

西東京ネット

おしゃべりネット 第3回「十代の望まない妊娠って不道德だから?」
12月20日(日) 13:30～15:00 パスレル保谷(保谷駅14分) 十代の妊娠の背景にあるのは何だろう。コロナ禍で問題になっている問題。そこにある毒親の問題や性知識について話し合ってみよう 042-453-4121

八王子ネット

講演会(仮題)「この先どうなる?介護保険」
2021年1月9日(土) 14:00～16:00 北野市民センター8階ホール(北野駅) 講師:小竹雅子(市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰) 500円 主催:八王子地域協議会 問合せ:042-623-8802

八王子ネット

政治カフェ
1月15日(金) 14:00～16:00 北野市民センター7階(北野駅) テーマ:『コロナ後の世界を生きる』(村上陽一郎著 岩波新書 2020年) 解説:島袋善弘(山梨県立大学名誉教授) 参加者で意見交換 042-623-8802

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



「ケアを担う若者たちの声を聴こう!」実行委員会の調査活動に先行して、江戸川区区内で開催された学習会。2019年11月30日

ヤングケアラーの実態を知ることの必要性を訴え、今回の調査を提案した一人、江戸川・生活者ネットワーク区議会議員の、本西みつえ



子どもにとって最善の利益を保障するために——子どもも施策が動き出した

江戸川区では今年の4月に児

童相談所を開設しました。かつて一人の子どもの命を救えなかった苦い経験から、子どもの最善の利益を考えた運営をめざしています。

ヤングケアラーとは、「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」のことです。私たちの身近にもヤングケアラー・若者ケアラーが存在するのではないかと考え、江戸川では実行委員会を立ち上げ、介護を担う子どもや若者の実態を調査しました。

知っていますか? ヤングケアラー

「ケアを担う若者たちの声を聴こう!」実行委員会の調査から

また、子どもが心身ともに健康で自分らしく育つためには「子どもが権利の主体である」ということを、子どもも大人もすべての人がわかることが必要です。私たち江戸川ネットでは設立当初より、子どもの権利条例の制定を区に求めてきました。国連で子どもの権利条約が誕生して30年以上たちますが、ようやく今年、子どもが参画する形で条例の制定が進んでいます。

このような区の動きがある中、江戸川ネットの福祉部会ではヤングケアラー支援についての議論を深めていました。福祉の現場に関わっている部会のメンバーは、在宅介護が推進されることで、要介護者を抱えた家族の負担が大きくなっていることを感じていました。

回答者340名の2人に1人が、ヤングケアラーの存在を認知!

そこで昨年11月、「ケアを担う若者たちの声を聴こう!」実行委員会を立ち上げ、介護を担う子

どもや若者の実態調査を行うことにしました。多数の行政職員も含め、学校教育・医療・福祉の現場で働く340名から回答を得ました。その内の48.2%にあたる164人が、現在または過去において、自分の関わった子どもや若者の中に、あるいは家庭に「介護を担う子どもや若者がいる、いた」と回答しました。調査に参加した人の2人に1人が、ケアを担う子どもや若者の存在を認識していたことになりました。また、ケアを担うことでの影響については、137人の有効回答者の内、特に影響がないと答えたのは11人に留まり、回答者の92.0%は精神面への影響や、学校を休むなどの生活への影響があると回答しています。

介護を担う子どもや若者は、家族の手伝いをして「良い子」と見られていたり、当人も自分が育っている家庭がすべてであり、自分の置かれている状況に気がつかず声を上げることができないため、その存在を見えにくくしていると言われています。今回の調査も、実態の一部を明らかにしたに過ぎません。

子どもや若者が、その権利を尊重され、それぞれの時期を自分らしく生きられるように、各自治体でケアを担う子どもや若者が置かれている状況を丁寧に調査し、必要な支援を行うべきだと考えます。

江戸川・生活者ネットワーク
区議会議員 本西みつえ

世界政治を読む

アメリカ大統領選2020 深まる分断と融和への道

いま
NOW

未曾有のコロナ危機の下で行われた今回の大統領選は、この20年間で稀に見る接戦となった。前世紀末から続く共和党支持層と民主党支持層の分断がトランプ政権下で先鋭化し、選挙の帰趨を左右した。開票4日後の11月7日、当選に必要な270人の選挙人を得た民主党のジョー・バイデンが勝利宣言を行い、選挙は一応の決着を見た。しかし共和党の現職大統領トランプは、恒例の敗北宣言を拒否、政権移行チームへの協力も拒絶、新政権はアメリカ政治史上例を見ない「分断」状況で発足することになった。

投票率は大統領選挙史上最高の66.9%に上った。実に1億5千万人を超える記録的数の有権者が、分断と混迷を深めるアメリカ社会の未来を決めるこの選挙に参加した。自らの価値と生活を守るため選挙を通して政治に参加する。建国以来脈々と流れるアメリカン・デモクラシーの原点だ。人種、性、年齢、経済格差を超えたアメリカ市民がその原点に回帰し、アメリカの民主政治の底力を示したと言える。

一方で、選挙の結果は票を大きく二分するものとなった。確かに勝利宣言したバイデンは7900万人にのぼる国民の信託を受けた。歴代大統領で最高の支持票だ。しかし落選したトランプも7300万を超える票を得て、前回の当選時より約1千万票を伸ばした。本来この選挙は、1千万人を超すコロナ患者と23万人の死者を出し、アメリカ経済を破綻させた現職大統領に対する審判の選挙となるはずだった。予想に反したトランプ支持の高さは、白人中心の社会や中絶反対など「古き良きアメリカ」を固持する保守層が堅固であることを物語っている。



ようやくジョー・バイデンで決着した米大統領選。「女性参政権獲得100周年に初の女性副大統領」も実現した。この運に巡り合わせたカマラ・ハリスは、60年代の公民権運動の下で生誕した女性だ。アメリカの未来のリーダーとして注目したい

バイデン新大統領は勝利宣言で、私は「全国民の大統領として統治する」と宣言したが、実際、直面するアメリカの分断の根は深い。しかし今回の選挙でバイデンを大統領に押し上げる原動力となったのは、ミレニアル世代、Z世代と言われる1980年代以降生まれの若者たちだった。彼らは「ブラック・ライブズ・マター(黒人の命も大切だ)」運動や「#MeToo」の女性運動を展開し、脱炭素社会を求め、貧富の格差が拡大した社会の再調整を強く求める世代だ。それはアメリカの未来を背負う世代でもある。バイデンは、副大統領にアメリカ史上初の女性で非白人のカマラ・ハリスを選んだ。はたしてバイデンとハリスの新政権がどこまで彼らの要求を満たすことができるのか。融和への鍵は、分断の調整ではなく、若者世代の主張をアメリカ社会の主流に据えることではないだろうか。



進藤久美子 東洋英和女学院大学名誉教授

Information

霞が関の官僚組織:外務省の意思決定

12月22日(火) 18:00～21:00 スペースたんぽぽ(水道橋駅) 講師:孫崎享(東アジア
共同体研究所) 800円(学生400円) 要予約 たんぽぽ舎 03-3238-9035

平和を創るとはということか?—平和構築としての平和教育

12月26日(土) 14:00～16:30 ココネリ3階ホール西(練馬駅) / ZOOM 講師:暉峻僚
三(中央大学講師) 700円 / ZOOM600円 / 高校生以下無料 オンライン講座申込み先:
watanabeyosuke@hotmail.com 東アジア近現代史セミナー実行委員会 03-3921-8023

東海第二原発、再稼働工事はやめよ! 日本原電本店抗議

2021年1月13日(水) 17:00～17:45 日本原電本店前(末広町駅、秋葉原駅) とめよう!
東海第二原発首都圏連絡会 / 再稼働阻止全国ネットワーク 070-6650-5549

東京電力は福島原発事故の責任をとれ! 東電本店合同抗議

1月13日(水) 18:30～19:30 東京電力本店前(新橋駅、内幸町駅) 呼びかけ:経産
省前テントひろば 070-6473-1947 / たんぽぽ舎 03-3238-9035



東京の子ども・若者の育ち環境をよくしようと、都知事や国連子どもの
権利委員会委員、識者らが集まり議論を開始した、都の「こども未来
会議」が注目されている。このオンライン会議を東京・生活者ネット
ワークのホームページで紹介したところ、早速、ドイツに暮らす小学
4年生の子どもたちから、「いま、子どもの権利について学んでいるよ。
東京の子どもたちにも知らせてあげたい」「こども未来会議の大人たち
にも伝えてほしい」と、お便りとポスターが届いた。シュツットガルトイ
ンターナショナルスクールのみんな、日本語クラスのスプレnger・貴
世先生、ありがとうございます! こども未来会議を主催する都知事・
政策企画局にあてて手渡しする都議の山内れい子。11月6日

止、早急な補償
を要請するよ
う、都に申し入
れた。その後開
催された住民説
明会も住民の気
持ちは逆なです
るようなもの
だったと聞いて
いる。住民の財
産や生命を脅か
す外環道は即刻
中止すべきだ。

都議会生活者ネットワークで
は、昨年文書質問でこの汚染問題
を取り上げ、今年1月には米軍横
田基地周辺井戸からの高濃度検出
報道を受け、都に対して①日本政

府および米軍に対して、基地内の
地下水濃度や泡消火剤の使用状況
などを明らかにするよう都として
要請する②汚染の原因を究明する
③水源井戸の取水を止めず汚染を
除去した上で配水する——ことを
要請した。

水道局は昨年6月から濃度の高
い国分寺市と府中市の水源井戸か
らの取水を止めている。汚染除去方
法の確立や汚染拡大防止のために
も揚水の継続が重要だ。また、多摩
地域には水道水源以外にも飲用井
戸が多くあるため、水質検査と汚染
井戸の飲用中止を周知する必要が
ある。さらに、PFOS、PFOA
の規制に伴い、代替の有機フッ素化
合物が使われており、PFHxS
などについても検査すべきだ。住民
の健康調査、汚染源の究明とともに
、地下水を飲み続けられるよう対
策を今後も求めていく。

道路陥没で
外環道は即刻中止を
調布市で10月に発生した道路陥
没事故。大深度地下をシールドマシ
ンが掘り進む外環道工事の沿線住
民からは不安と怒りの声が届いて
いる。多くの市民団体の反対を押し
切り、強引に始めた工事だが、これ
までも野川の気泡発生や振動壁の
亀裂などの被害が起こっていた。

都議会生活者ネットワークは、
NEXCO東日本と国土交通省に
情報公開と原因究明までの工事中
止、早急な補償
を要請するよ
う、都に申し入
れた。その後開
催された住民説
明会も住民の気
持ちは逆なです
るようなもの
だったと聞いて
いる。住民の財
産や生命を脅か
す外環道は即刻
中止すべきだ。

PFAS 汚染／外環陥没事故

住民の財産と生命を脅かす外環道は即刻中止を!

東京・生活者ネットワーク都議会議員

山内れい子 [国立市・国分寺市]



水道水源井戸の
有機フッ素化合物汚染

有機フッ素化合物(PFOS、
PFOA)が高濃度で検出された
水道水源井戸の給水地域の住民の
血液を調べたところ、PFOS、
PFOAの1・5～2倍の濃度だったこと
が10月に報道された。

この報道を受け、給水地域にあ
たる国分寺市と府中市を中心に多
摩地域で、住民の間に不安が広がっ
ている。有機フッ素化合物は、熱に
も油にも水にも強く、泡消火剤や
フライパンの表面加工、撥水剤など
に幅広く使われているが、自然界で
分解されにくく、「フオーエバー・
ケミカル(永遠の化学物質)」と呼ば
れている。体内に蓄積されガンなど
の発症リスクが指摘されているが、
これまで日本では基準値がなく、ほ
とんど話題にされることはなかつ
た。2016年、沖縄の米軍基地周
辺で水道水源の高濃度汚染が発覚
したことを発端に、少しずつこの問
題が認識されるようになり、厚生労
働省もようやく今年4月から、
PFOS、PFOA合算で1lあ
たり50ナノグラムという暫定目標
値を適用している。

水道局は昨年6月から濃度の高
い国分寺市と府中市の水源井戸か
らの取水を止めている。汚染除去方
法の確立や汚染拡大防止のために
も揚水の継続が重要だ。また、多摩
地域には水道水源以外にも飲用井
戸が多くあるため、水質検査と汚染
井戸の飲用中止を周知する必要が
ある。さらに、PFOS、PFOA
の規制に伴い、代替の有機フッ素化
合物が使われており、PFHxS
などについても検査すべきだ。住民
の健康調査、汚染源の究明とともに
、地下水を飲み続けられるよう対
策を今後も求めていく。

道路陥没で
外環道は即刻中止を
調布市で10月に発生した道路陥
没事故。大深度地下をシールドマシ
ンが掘り進む外環道工事の沿線住
民からは不安と怒りの声が届いて
いる。多くの市民団体の反対を押し
切り、強引に始めた工事だが、これ
までも野川の気泡発生や振動壁の
亀裂などの被害が起こっていた。

都議会生活者ネットワークは、
NEXCO東日本と国土交通省に
情報公開と原因究明までの工事中
止、早急な補償
を要請するよ
う、都に申し入
れた。その後開
催された住民説
明会も住民の気
持ちは逆なです
るようなもの
だったと聞いて
いる。住民の財
産や生命を脅か
す外環道は即刻
中止すべきだ。

新藤宗幸さんに聞く—
新型コロナウイルスと政治
隠れものに使われた「専門家」



練馬区議会議員
ワイク区議会議員
やない克子

日本学術会議新会員の任命拒否
の問題にもふれ、政権の意向に
沿わない専門家を排除する姿勢
は、今に始まったことではない
と指摘しました。

東京電力福島第一原発事故
後、大臣の指揮監督を受けずに
独自に権限を行使できる「原子
力規制委員会」が設立。委員5人
のうち3人は原子力工学が専門
で、いわゆる「原子力ムラ」の重
鎮も含まれました。原発の再稼
働に慎重だった初期の委員の1
人は再任しないことで、結果的
に排除されています。



右:環境・福祉優先のまちをつくる実行委員会が主催した講演会
「新型コロナウイルスと政治 隠れものに使われた『専門家』」で、講演す
る、千葉大学名誉教授で行政学者の新藤宗幸さん。練馬区民・産
業プラザ。10月24日
左:新藤宗幸さんを囲んで、左から、練馬・生活者ネットワーク区
議のやない克子ときみがき圭子、東京・生活者ネットワーク都議
の山内れい子

都政
NOW
区市とつなぐ

10月24日、練馬区内で開催さ
れた新藤宗幸さんを招いての市
民集会。
未知のウイルスに対する科学
的な助言を求めた専門家の顔ぶ
れを見ると、政権に親和性が高
く、助言機関の体裁を整えたと
しか見えないと、これまで行政
学者として政府のあり方を注視
してきた新藤さんは言います。

科学的に解明してほしい頼み
の専門家は政治家の言いなり
、政治家は責任逃れのために
専門家を利用しているようにし
か見えずイライラ、モヤモヤが
募る日々でした。この頃、政治学
者・行政学者のお立場から、現状
について積極的な発言されてい
たのが新藤宗幸さん(千葉大学
名誉教授)でした。

コロナ禍が奇しくも明らかに
したのは、医療・保健・教育、働き
方における以前からの問題、課
題でした。混乱の時代だからこ
そ、専門家の徹底的な活用が必
要です。しかし、有識者会議など
に登用されることを名誉や評価
されたかと思ひ、政権にすり寄る
専門家が多いのではないかと懸
念します。専門家には、多様な意
見を聞き、合理的に判断し、情報
を公開する、といった科学が
よって立つ正当性こそが求めら
れます。緊急事態宣言が出され
た時、国民の多くが自宅待機に
応じたのは「8割の接触を減ら
すべき」という専門家の主張を

受け入れたからではないでしょ
うか。
超高齢社会が現実のものとな
っているのに、改正のたびに
後退する介護保険制度、「公共
交通機関」としながら効率優先
で不採算路線を切り捨てる交通
行政など、新藤さんのお話は多
岐にわたりました。
市民の生活に目を向け、実態
に基づいた政策立案のために、
人権や公平、公正など普遍的な
価値を重視して、政府に助言す
るのが専門家の役割です。政治
が「生活をよくする道具」として
機能し市民が主体の行政が行わ
れるように、私たち自身が「政治
と専門家」の適切な関係性を求
めていかなければなりません。

編集後記 / 年明けには想像できなかった新型コロナの状況で、はじめて経験する不自由で不安な
日々が続く2020年最後の月となった。この間、計画していた集会が開催できず、オンライン集
会になってしまうことが多かった。遠い場所からでも参加できるという利点はあるものの、実際に
会い交流することとはずいぶん違うものだと思う。政治状況、社会状況になかなか希望が見えな
いが、「継続は力」を信じて歩き続けたい。 / 今年もご購読ありがとうございます! (上坂)